

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat
製品コード : 00275
製品グループ : 取引製品

会社情報

製造業者

株式会社モデスタ
761-8075
日本香川高松市東ハゼ町 20-3
www.modesta.co

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分 3
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	誤えん有害性 水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性） オゾン層への有害性	分類できない 区分 1 区分 2 分類できない
-----------	---	----------------------------------

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 飲み込むと有毒 (H301)
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
水生生物に非常に強い毒性 (H400)
長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)
保護眼鏡、適切な保護手袋を着用すること。(P280)

応急措置

: 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
(P308+P313)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
漏出物を回収すること。(P391)

保管

: 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

: 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は
特別廃棄物の収集場所廃棄すること。(P501)

処理時の追加危険有害性

: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

: 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ジブチルスズジアセテート	3	C12H24O4Sn	(2)-2330	既存化学物質	1067-33-0

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: 直ちに医師の診察を受ける。

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	： 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	： 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	： 口をすすぐこと。 直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	： ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	： 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	： 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	： 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	： 強い水流は使用しない。
火災危険性	： 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	： 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	： 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	： 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	： 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	： 出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。

緊急対応者

保護具	： 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	： 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	： 環境への放出を避けること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
------------	--

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
個人用保護具を着用する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
- 処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

- 安全な保管条件 : 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : データなし
- 技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 混触禁止製品 : 酸化剤。強酸。強塩基。
- 容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。
- 保管温度 : 22 °C

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 呼吸用保護具 : [換気が不十分な場合]呼吸用保護具を着用すること。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
使い捨て式空気浄化呼吸器(APR)		短期ばく露	

- 手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロプレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN ISO 374-1 EN ISO 374 EN 374-2

- 眼の保護具 : 安全メガネ

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ		サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具：適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
	EN ISO 6529 EN ISO 20345

環境へのばく露の制限と監視：環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：液体
外観	：液体
色	：無色
臭い	：データなし
pH	：データなし
融点	：データなし
凝固点	：データなし
沸点	：> 100 °C
引火点	：データなし
自然発火点	：データなし
分解温度	：データなし
可燃性	：データなし
蒸気圧	：データなし
相対密度	：データなし
密度	：データなし
相対ガス密度	：データなし
溶解度	：水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	：データなし
爆発限界 (vol %)	：データなし
動粘性率	：データなし
粒子特性	：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	：通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	：通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	：通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	：推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	：データなし
危険有害な分解生成物	：通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	：飲み込むと有毒
急性毒性 (経皮)	：分類できない

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
分類できない (粉じん、ミスト)

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat	
ATE JP (経口)	166.667 mg/kg BW

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、32 mg/kg (HSDB (Access on June 2016)) の報告に基づき、区分 2 とした。なお、ラットの LD50 値として、32 mg/kg (環境省リスク評価第 8 巻 (2010)) との報告があるが、List3 の RTECS に基づく情報であり、詳細不明であるため、分類には採用しなかった。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。なお、ウサギの LD50 値として、2,318 mg/kg (環境省リスク評価第 8 巻 (2010)) との報告があるが、List3 の RTECS に基づく情報であり、詳細不明であるため、分類には採用しなかった。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口	32 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	2320 mg/kg 出典 : GESTIS

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
皮膚腐食性／刺激性	ヒトで刺激性なしと報告されているが (環境省リスク評価第 8 巻 (2010))、試験の詳細が不明なため、分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。

呼吸器感受性 : 分類できない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。

皮膚感受性 : 分類できない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。すなわち、in vivo データはなく、in vitro では細菌の復帰突然変異試験で陰性、哺乳類培養細胞のマウスリンフォーマ試験、染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陽性である (環境省リスク評価第 8 巻 (2010)、NTP DB (Access on June 2016)、HSDB (Access on June 2016))。

発がん性 : 分類できない

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
発がん性	ラット、又はマウスに本物質を 78 週間混餌投与し、26 週間後 (ラット) 又は 14 週間後 (マウス) に屠殺剖検した発がん性試験において、雄ラットに腫瘍発生の増加はみられなかったが、雌ラットは高用量群の組織試料を偶発的に紛失したため評価不能であった。一方、マウスには雌で用量レベルと肝細胞腺腫との間に正の有意な相関がみられ、雄にもその傾向が窺われたが有意差はなく、雄ラット、及び雌雄マウスでは発がん性を結論付ける証拠はなかったと結論された (NTP TR 183 (1979))。既存分類結果としては、ACGIH が有機スズ化合物に対して A4 に分類している (ACGIH (7th, 2001))。以上より、本項は分類できないとした。

生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
生殖毒性	妊娠ラットの器官形成期に強制経口投与した複数の発生毒性試験において、母動物毒性 (胸腺重量減少、体重増加抑制) がみられる用量、又はそれ以下の用量で、胎児に胚/胎児死亡の増加、外表奇形 (下顎裂、下唇裂、舌癒着、脳ヘルニアなど)、骨格奇形 (顎異常、肋骨や胸部椎弓の融合など) の発生頻度の増加が認められている (環境省リスク評価第 8 巻 (2010))。よって、本項は区分 1B とした。
NOAEL(動物/オス、F0/P)	1.9 – 2.3 mg/kg BW 動物 : ラット、動物の性別 : 雄、ガイドライン : OECD ガイドライン 421 (生殖/発生毒性スクリーニング試験)
NOAEL(動物/メス、F0/P)	1.7 – 2.4 mg/kg BW 動物 : ラット、動物の性別 : 雌、ガイドライン : OECD ガイドライン 421 (生殖/発生毒性スクリーニング試験)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。なお、体内で、ジブチルスズオキシド及びジブチルスズクロリドになるジブチルスズ類については、その毒性を共通して採用できると考えられるが、本物質が生体内でジブチルスズオキシド又はジブチルスズクロリドに転換するという情報は得られなかった。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分に該当しない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトに関する情報はない。実験動物では、マウスを用いた混餌での 78 週間反復投与毒性試験において、区分 2 相当の 150 ppm (ガイダンス値換算: 22.5 mg/kg/day で肝臓に影響 (変性性及び壊死性変化) の報告がある (NTP TR183 (1979))。なお、ラットを用いた混餌での 78 週間反復投与毒性試験において、区分 1 相当の 62.5 ppm (ガイダンス値換算: 3.125 mg/kg/day) で子宮に影響 (化膿性炎、嚢胞性・ポリープ性過形成) がみられている (NTP TR183 (1979))。しかし、NTP TR183 (1979) において影響として明確に記載していないこと、用量相関性が確認できないことから影響とするには不十分であると判断した。また、体内で、ジブチルスズオキシド及びジブチルスズクロリドになるジブチルスズ類については、その毒性を共通して採用できると考えられるが、本物質が生体内でジブチルスズオキシド又はジブチルスズクロリドに転換するという情報は得られなかった。したがって、区分 2 (肝臓) とした。

誤えん有害性 : 分類できない

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)

誤えん有害性

データ不足のため分類できない、なお、HSDB (Access on June 2016) に収載された数値データ (粘性率: 18 mPa・s (25°C)、密度 (比重): 1.31 (25°C)) より、動粘性率は 13.74 mm²/sec (25/25°C) と算出される。

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に非常に強い毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性。
水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)

水生環境有害性 短期 (急性)

藻類 (スケルトネマ) 72 時間 EC₅₀ = 0.1 mg/L (CICADs 73, 2006) であることから、区分 1 とした。

水生環境有害性 長期 (慢性)

信頼性のある慢性毒性データが得られていない。急速分解性がなく (BIOWIN)、急性毒性区分 1 であることから、区分 1 とした。

LC₅₀ - 魚 [1]

3.1 mg/l 出典 : ECHA

EC₅₀ - 甲殻類 [1]

1.4 mg/l 試験生物 (種) : Daphnia magna

ErC₅₀ 藻類

0.1 mg/l

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)

3.39 出典 : ECHA

残留性・分解性

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

残留性・分解性

急速分解性でない

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)

残留性・分解性

急速分解性でない

生体蓄積性

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

生体蓄積性

データなし

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)

3.39 出典 : ECHA

土壌中の移動性

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

土壌中の移動性

データなし

ジブチルスズジアセテート (1067-33-0)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)

3.39 出典 : ECHA

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報 : 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級(UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 変異原性が認められた既存化学物質（法第 57 条の 5、労働基準局長通達）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号～第 2 号別表第 9）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2 第 1 号～第 2 号別表第 9）
すず及びその化合物（政令番号：322）（5%未満）
大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第 9 次答申）
外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）
有機スズ化合物（ビス（トリブチルスズ）＝オキシドを除く。）（管理番号：664）スズとして(1.0%)
労働基準法 : 疾病化学物質（法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1）

安全データシート

Modesta PRIVATE LABEL - Base Coat

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。